

みなみのさかひ

令和5年度 まなびフェスタ南伊勢

主催：南伊勢町教育委員会

2024
(令和6年)
5月1日
No.66

～「アコースティックギター教室」～



主な内容

3月定例会	P 2
一般質問	P 4
議員町内視察	P 11
委員会活動報告	P 12
つばやき広場	P 13
みんなのでやととるで～ほか	P 14

重点事業と注目ポイント

3月4日から19日までの日程で、令和6年第1回議会定例会が開催されました。

補正予算案8件、当初予算案7件、条例案28件、その他の議案6件、諮問3件、発議1件、発委1件が提案されました。

また各常任委員会に付託された令和6年度当初予算案は、委員長報告を受け、可決となりました。案件については、すべて原案通り可決、承認されました。

一般質問では、6名の議員が質問を行いました。

令和6年度当初予算（一般会計）は、前年度比 **12億2,816万円増**
117億7,480万円（11.6%増）

●歳入予算の主な増減

町税は約9,300万円の減、地方交付税は3,700万円の減、国庫支出金は約3,600万円の減、町債は約10億円の増となる見込みです。

●歳出予算の主なもの

ハード面

南島地区の小中学校統廃合推進事業に約3億3,300万円、なかよし保育園の高台移転事業に約6億7,900万円、道路改良・維持工事に約5億9,300万円、定住者のための住宅用地を整備する定住用住宅環境整備事業に約4,600万円。

ソフト面

買い物不便・困難者対策事業に約2,000万円、新築及び中古住宅取得支援補助金に約2,200万円、全国豊かな海づくり大会推進事業に427万円、1次産業後継者等育成事業補助金に540万円。

令和6年度の主な事業を紹介します

課名	事業名	事業概要	事業費(円)
水産農林課	ふるさとワーキングホリデー事業	地方で働き、収入を得ながら地域住民との交流や地方での暮らしを体感し、地域との関わりを深める国の「ふるさとワーキングホリデー制度」を活用して、地域と産業労働力のマッチングを行います。	440万
水産農林課	水産業スマート化推進支援事業補助金	スマートフォン等で海域の水温や酸素量、塩分濃度、海上カメラ等のデータをリアルタイムで監視できる海洋モニタリングシステムの導入について漁業者に補助します。	111万
防災安全課	避難場所整備事業	神前浦地区の津波避難タワー建設の設計費や相賀浦地区の避難場所整備の設計費、また、1次避難場所整備工事費等、避難場所の充実を図ります。	7,900万
まちづくり推進課	新エネルギー普及促進事業	再生可能エネルギーの利用促進や分散型エネルギーの地産地消を促進するため、国の固定価格買取制度によらない太陽光発電設備や定置型蓄電池に対し、補助金を交付します。	121万

安 全・安心な場所へ



なかよし保育園を津波想定範囲外の高台（南島中学校の敷地内）に移転します。本年度は園舎本体の建設工事を実施します。

**なかよし保育園
移転事業**
6億7912万円

令 和9年度の開校予定



南島地区の小中学校の統廃合事業を実施します。南島中学校の敷地に集約されます。

**小中学校統廃合
推進事業**
3億3280万円

買い物不便・困難者対策事業

2,000万円

買い物困難地域の問題解消を目的に、国・県の補助金を活用し、事業改善を進める町内の食料品店を対象に町独自の上乘せ補助・横出し補助を実施します。

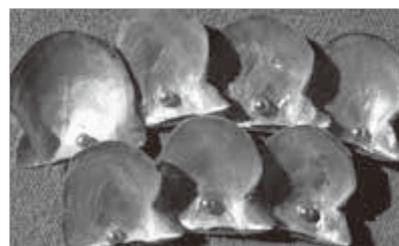


真珠母貝及び稚貝購入補助金事業

440万円

断続的に発生するアコヤガイのへい死に対し、真珠養殖業者の経営安定と事業継続意欲の向上を目的に、母貝、及び稚貝の購入を補助します。

・補助金は、購入金額の1/2まで（上限10万円）



あなたの声を町政に!!

一般質問



議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をただし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
山本克彦	① 災害対策について	5
倉田育	① 福祉避難所と災害対策、地域防災協定について ② 特殊詐欺被害ゼロを目指した対策強化を	6
岡田和夫	① 能登半島地震の経験から防災対策の見直しを ② 第9期介護保険事業計画について ③ 産直交流施設の計画はどうなっているのか	7
上村直美	① 能登半島地震から考える。今、自分たちに出来ること。	8
松葉和久	① 林業の後継者について	9
岡本眞	① 防災対策について	10

3月定例会における傍聴者の総数

3名（内 メディア関係者数 1名）



一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会で会議録に基づいて編集、要約しています。詳細は、議会事務局に、お問い合わせください。（TEL 0599-66-1781）



ひこ やまもと かつひこ
山本 克彦 議員

災害対策は

町長 地域と一緒に

Q

近年の「地球温暖化」によって、全国的に雨の降り方が局地化、集中化しており、それに伴う被害も甚大なものとなっている。

二次災害を防ぐ為にも、被害の早期復旧や適切な防災処置を図る事が重要であり、所有者が復旧、防災処置を行うことを前提であるが、民地に対して行政の関与は。

A

町長 町では、土砂災害から町民の

生命財産を守るため、ソフト面では、全世帯に土砂災害の危険箇所を示したハザードマップを配布し、ハード面では、急傾斜地の崩壊を防ぐため、国や県、町が実施する急傾斜地崩壊対策事業や森林の維持造成を通じて山地被害を防ぐ治山事業で対策を行っている。

急傾斜地崩壊防止法では、急傾斜地の所有者が、その土地の崩壊が生じないよう維持管理を行う。また崩壊により被害を受けるおそれのある者は、その被害をなくしたり軽減するための措置を講ずることに努め

ると定めている。

現時点においては、特に民有地に対して、行政がどこまで関わるか明確な基準等はないが、二次被害を含めた災害を防ぐためにも、このような災害が発生した場合、行政に相談して、地域と一緒に頑張って対応していきたい。



山が泣いている



安全な道を



くら た いく
倉 田 育 議員

福祉避難所の対策は

町長 情報共有や協力関係の構築を



いつも啓発活動
ありがとうございます

Q 南海トラフ地震に
対しての福祉避難
所開設・運営にあたっての
対応策についてどのよう
に強化を進め、大規模災害
に備えていくのか。

A **町長** 現在、町内
4つの特別養護老
人ホームとの間で、「災害
発生時における福祉避難所
に関する協定」を締結し、
「福祉避難所運営マニユア
ル」に、受け入れ条件や運
営体制など定めている。

本年度、南島西体育館を
福祉避難所としてバリアフ
リー化を行い、かもめ作業
所も福祉避難所を兼ねての
新築になる。

今後、福祉避難所に関す
る情報を広く町民の皆さま
に周知していくとともに、
関係団体・事業者との間で
情報共有を図っていく。

町内での対応が困難と
なった場合の町外への避難
や、広域的な支援の要請も
想定し、近隣の市町および
関係団体との協力関係を構
築していきたい。

特殊詐欺被害の対策は

町長 啓発活動を積極的に



詐欺にあわないために

A **町長** 特殊詐欺被
害を防止するため
には、町民に対する日頃か
らの継続的な啓発が大切で
あることから、町広報紙や
南伊勢町行政チャンネル、
防災イベントによる啓発、
町防災行政無線による注意
喚起に努めている。

また、本年度より「特殊
詐欺等被害防止機器購入補
助金」を創設し、被害防止
に取り組んでいる。

Q 三重県内におい
て、令和5年度の
特殊詐欺被害件数は274
件もあり、被害額は7億円
を超えている。

現状の補助事業対策だけ
では町民の財産を守ること
は難しいと感じる。

町民が詐欺被害に遭わな
いために、思い切った新
たな対策は。

特殊詐欺の手法は、年々
複雑化、かつ巧妙化してい
ることから、これらに対応
した掲載記事の充実を図る
とともに、引き続き、警察
や関係機関と連携しながら
継続的に広報、啓発活動を
実施していく。



おか だ かず お
岡 田 和 夫 議員

介護保険事業計画は

町長 介護人材の確保に努める

Q

4月から第9期介護保険事業計画が始まる。訪問介護の利用予定者が増えているが、ホームヘルパーの人数は確保できるのか。

また、新たなデイサービスセンターを開設する計画は。

A

町長 ホームヘルパーを含む介護職員の確保については、全国的に厳しい課題となっている。



利用者が増加

るが、当町では、介護職員初任者研修の無料受講事業や奨励金制度、また事業者へ支給する補助金制度を創設し、介護職員の確保を図っている。

デイサービスセンターについては、民間事業者からの相談があればできる限りの協力を行いたい。

産直交流施設は

町長 賑わいの拠点

Q

農業、水産業、商工、観光業を思い切って活性化するためにも、産直市場はなくてはならないものだと思うが町長の考えは。

A

町長 現在、農林水産業や商工業、観光業の関係団体と協議を行い、町に必要な形を模索している。少し時間をかけて協議、調整しているところである。

また、総合計画にも記載してある、「まちの賑わいと活力を生み出す拠点」として、南伊勢町民や近隣地域、観光客など様々な方がふれあい、交流できる場所となるよう、町としてコンセプトや方向性をしっかりと定めていく。



特産品がずらり

能登半島地震に学ぶことは

町長 防災意識の向上



うえむら なおみ
上村直美 議員



自分の身は自分で守る

Q 令和6年1月1日に、まさかと思うような大災害がおこった。当町では、防災対策について一次避難所の整備や、備蓄など、積極的に取り組んでいるが、町民への思い、災害に対する町長の考えは。

A 町長 当町でも、南海トラフ地震が危惧されるが、ひとつ言えるのは「南海トラフ地震は必ず起こる」ということである。
自助活動の啓発として、防災の専門家による防災講演会の各地での開催、木造住宅の耐震化、家具固定、

備蓄の準備、避難経路の確認、また、体力の向上などの事業を行い、「揺れたら逃げる」「自分の身は自分で守る」という防災意識の向上に取り組んできた。
今後も、防災訓練や講演会、楽しく学ぶ防災イベントなど様々な手法を考えながら一人ひとりの防災意識の向上に努めたい。



自分で出来ること 二次避難所の備蓄



少しでも快適に
組み立て簡単ダンボール製



まつばかずひさ
松葉和久 議員

森林の管理は

町長 人材育成・担い手の確保

Q 森林の適切な管理を進める事は、山地災害の防止や鳥獣害の減少と考える。

森林の管理を進めるために今後の林業後継者の育成・確保への取組は。

A 町長 令和4年度から一次産業就業

者確保のための一次産業後継者等育成補助金の創設や森林環境譲与税を活用し、人材育成・担い手の確保に取り組んでいる。

また、林業労働力の確保を目的とした「林業労働力の確保の促進に関する法律」に規定されている認定林業事業体を育成するために県と連帯し林業事業者の経営基盤の強化と就労条件の改善を推進し、林業就労者確保のための情報提供や相談活動を行うとともに専門的な技術の取得などの支援を行い、林業後継者や林業従事者を確保していく。



子どもたちの林業体験



林業っていいね

防災対策は

町長 相互応援協定を



おかもと まこと 議員
岡本 眞

Q

能登半島地震は北陸地方に甚大な被害をもたらした。

能登半島地震の新たな教訓を生かして、これからの防災対策をさらに強化して「備え」をすることが大切と考えるがどうか。

A

町長 近い将来、南海トラフ地震の

発生が危惧される中、今回の地震、被災地の支援活動を通じて得られた教訓を踏まえつつ、町民の生命を守る取組を強化していきたいと考えている。

能登半島地震でも、道路や電気、水道といったインフラやライフラインが壊滅的な被害を受け、環境の整わない避難所で疲弊する住民に対して、「広域避難」の必要性が叫ばれた。



災害時に力を発揮

当町も度会町と結んでいた災害時における相互応援協定を、新たに、玉城町、大紀町とも結び、お互いが支援協力するとともに、町外へのいち早い避難体制のしくみも作ることもできた。

今後は、ほかの市町との連携も強化し、広域連携でなければいけないことにも取り組んでいく。



備えは十分に



議員視察研修報告

「百聞は一見に如かず」 現地に赴き各事業の現状を調査・意見交換を行い、目的と必要性・費用対効果を徹底議論していきます。

3月8日、議員全員で
現地視察を行いました。



国道260号
三坂峠 瑞賢公園前

■宿田曾漁港では、令和7年度に開催される「第44回全国豊かな海づくり大会」開催予定場所となる漁港を確認。

■奈屋浦漁港では経年劣化等の陸揚げ場や岸壁の現状と修繕工事箇所等を確認。

■南島中学校にて小中学校統廃合・保育所高台移転の建設予定地を視察。

■国道260号の東宮（河内区間）（三坂峠）事業進捗状況を確認。



統廃合校舎建設関係業務



なかよし保育園新園舎建設工事



南島中学校敷地内



第44回全国豊かな海づくり大会は、令和7年度（2025年度）に三重県の南伊勢町と志摩市で開催されます。

令和6年度は、宿田曾漁港でのプレイベント（先行イベント）が予定されています。



奈屋浦漁港



町内視察では、それぞれを所管する各課職員と共に、現地で事業説明を踏まえ、現状と今後の計画について話し合いを行いました。



◆ 常任委員会活動報告 ◆

～より良いまちづくりのために、調査、研究、
そして、現地調査などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・上下水道・まちづくりなど
について調査や審査を担当しています。

活動報告

◆ 1月25日
調査事項

● 防災について

能登半島地震から学ぶ大規模地震に備える町の準備等について調査しました。

◆ 2月21日
調査事項

● まちづくり推進課所管

情報発信について

ホームページのリニューアルと広報みなみいせの改



善点について調査しました。

◆ 3月11日、12日、13日

● 委員会が所管する各課の令和6年度当初予算審査を行いました。

◆ 3月27日
協議事項

● 令和5年度の振り返りに

ついて調査しました。

● 閉会中の継続調査申し出事件項目について検討しました。

委員組織構成

委員長	河村 健志
副委員長	田岡 悟
委員	岡田 和夫
	松葉 和久
	東 伊久雄
	山本 克彦

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・
介護保険・町税などの調査や審査を担当しています。

活動報告

◆ 1月11日、15日
調査事項

● 視察について

※予定していた福祉施設・教育関連の県内外視察は能登半島地震の被災状況を鑑み見送り、庁舎内協議に切替えました。

◆ 3月11日、12日

● 委員会が所管する各課の令和6年度当初予算審査を行いました。



委員組織構成

委員長	岡本 眞
副委員長	上村 直美
委員	田中喜一郎
	掛橋 靖
	倉田 育
	森 源久

◆ 3月25日
協議事項

● 令和5年度の振り返りに

ついて調査しました。

● 閉会中の継続調査申し出事件項目について検討しました。



つばやき広場



事業者さんも 町も頑張って!

観光で南伊勢町を1日ブラブラと楽しみ、夜も町内で宿泊しようと考えても、ほんとに泊まれる所が少なくなってきました。跡継ぎがいなかったり、働く人の高齢化とか、課題はたくさんあるけれど、美味しいものが食べれて泊まれる施設が未永く町内でありつづけてほしい。

(30代女性&60代男性)



道路の標識ですが

運転していると、標識の看板が傾いていたり、文字が薄くなっていて見えにくくなっていたりします。

また、木の小枝がカーブミラーをさえぎっている所もあるようです。

維持管理をよろしくお願いします。

(40代男性)



ポイ捨てやめて!!

車で走っている時に、前を走っていた車が突然、反対車線にはみ出て、車の窓から川の方へゴミを投げ捨てるのを見ました。ビックリしたのと腹立たしい気持ちでいっぱいになりました。やめてほしいです。

(50代女性)



夕焼け

私は、現在東京都に住んでいます。18年ぶりに里帰り出来ました。海に沈む夕日を見て、中学校時代クラブ活動の帰りに友と、いろいろ話したことを思い出します。

(60代男性)



あなたもつばやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^ ^)/ みんなでつばやきましよう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

みんなでやっとならで～



♪ やさしいギター合奏教室 ♪

♪ 講座内容

教室では簡単な合奏を楽しんでいます。
講師の広垣先生が丁寧に教えてくれますので、初めての人も弾けるようになります。
ギター等をお持ちでない方は貸し出しも行います。気軽にお越しください。
【持ち物】クラシックギター、譜面台、足台



♪ 会場・日時

船越公民館（季節により変更があります）
第2・第4水曜日 午前10時～11時30分

♪ 問い合わせ先

濱谷和子 ☎ 0599 - 66 - 0689



議会広報特別委員会	委員長	森源久
	副委員長	山本彦
	委員	田村直美
	委員	倉岡克育

（令和6年4月15日現在）

議長 掛橋 靖
（令和6年4月15日現在）

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

6月議会

6月18日～6月21日

傍聴の受付は議会事務局まで。
皆様の傍聴をお待ちしています。

編集後記

元旦に発生した令和6年能登半島地震によって、改めて地震はいつ起こるかわからないということを実感させられました。
有事の際には様々な面から情報が飛び交い現地の状況がいち早く知ることができるようになってきています。正しい情報入手し自分を守る行動をとって頂くことが重要です。また、地域で助け合い、公的な支援がしっかりと受けられる体制づくりを改めて議会で協議していきたいと考えます。

議会だよりでも有益な情報を発信することで、町民の皆様へ貢献できるよう、委員一同よりいっそう広報力を高めてまいります。
(倉田)



議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局まで、ご連絡下さい。
☎0599(66)1781
☎0599(66)2164